

2018年3月期 第2四半期決算説明会

2017年10月31日

目次

1. 2018年3月期 第2四半期決算概要	p.3-6
2. 2018年3月期 通期業績予想	p.7-10
3. セグメント別状況	p.11-16
4. 財務状況	p.17
5. 運航船舶	p.18

(添付) 定期コンテナ船事業合併会社
事業開始に向けた進捗状況報告

1. 2018年3月期第2四半期決算概要

▶ 対前年同期比 大幅な増収・増益、黒字転換

コンテナ船、ドライバルクともに活発な荷動きに支えられ市況は改善
業績は前回予想を上回る (P.10参照)

当期純利益は、構造改革に伴う大幅な特別損失を計上した前年同期比、黒字転換

- ▶ 定期船 荷動き好調で高消席率を維持
北米航路は、一部船社による臨時配船等による供給過剰感から
スポット運賃は足踏み
2 Qより事業統合会社(ONE社)を持分法適用会社として連結決算に取り込み開始
- ▶ 航空運送 荷動き好調で高運賃を維持し、前年同期比で大幅改善
- ▶ 物流 仕入れ運賃の高止まりにより粗利の低迷が続く
- ▶ 不定期専用船 ドライバルクは鉄鉱石、石炭、穀物等の太宗貨物の荷動きが好調
市況は一進一退を繰り返しながらも順調に回復
タンカー市況は新造船の供給圧力が強く軟化、
LNG・海洋事業は高稼働で収益に貢献
自動車輸送は北米・欧州向けが好調を維持

- ・ 2 Q特別損失 事業再編関連損失(コンテナ船事業統合) ▲42億円(前回予想織り込み済)
- ・ 2 Q当期利益 前回予想を大きく上回り 8 億円の黒字計上(前回予想▲43億円)

第2四半期決算 (サマリー)

2Q決算



▶ 対前年同期比 大幅な増収・増益、黒字転換

(億円)	17/3期							18/3期			上期 増減
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	
売上高	4,707	4,578	9,285	4,859	5,093	9,952	19,238	5,217	5,425	10,642	1,356
営業損益	▲109	▲115	▲224	69	▲25	43	▲180	35	91	127	352
経常損益	▲99	▲136	▲236	259	▲12	246	10	102	117	220	456
親会社株主に 帰属する 当期純利益	▲127	▲2,190	▲2,318	57	▲396	▲339	▲2,657	53	8	62	2,381
為替レート	¥ 111.12	¥ 103.50	¥ 107.31	¥ 106.13	¥ 114.29	¥ 110.21	¥ 108.76	¥ 111.48	¥ 110.92	¥ 111.20	+ ¥ 3.89
燃料油価格	\$ 192.62	\$ 238.71	\$ 215.67	\$ 270.71	\$ 312.94	\$ 291.83	\$ 253.75	\$ 326.72	\$ 316.32	\$ 321.52	+ \$ 105.85

前年同期比較（セグメント別）

2Q決算



- ▶ コンテナ船・ドライバルクの荷動き好調による市況上昇が牽引
- ▶ 物流は仕入れ価格の高止まりにより減益

事業 セグメント (億円)		17/3期							18/3期			上期 増減
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	
一般貨物輸送事業	定期船	1,414	1,391	2,805	1,498	1,554	3,053	5,859	1,715	1,790	3,505	699
		▲88	▲64	▲153	39	▲13	25	▲127	57	76	133	286
	航空運送	190	194	385	225	209	434	819	233	237	471	86
		▲19	▲14	▲34	22	38	61	26	7	▲8	▲0	33
	物流	1,138	1,119	2,258	1,180	1,175	2,355	4,613	1,189	1,277	2,467	209
不定期専用船事業	(単純合計)	21	24	46	20	9	30	76	▲0	13	12	▲34
		2,743	2,706	5,449	2,904	2,938	5,842	11,291	3,139	3,305	6,444	995
	▲86	▲54	▲141	82	34	116	▲24	63	81	145	286	
	不定期専用船	1,801	1,696	3,498	1,766	1,912	3,679	7,177	1,889	1,922	3,812	314
	▲8	▲85	▲94	80	▲27	52	▲41	27	22	50	145	
その他事業	不動産	24	24	48	25	20	45	94	19	19	39	▲9
		9	9	18	94	7	101	120	6	8	14	▲4
	その他	320	345	666	370	428	799	1,466	390	400	791	124
▲6	1	▲5	6	▲16	▲9	▲14	11	9	20	25		
連結	消去・全社	▲182	▲193	▲376	▲207	▲206	▲414	▲790	▲222	▲221	▲444	▲68
		▲7	▲7	▲14	▲4	▲10	▲15	▲29	▲6	▲4	▲10	3
	▲99	▲136	▲236	259	▲12	246	10	102	117	220	456	

※ （上段）売上高 （下段）経常損益

© 2017. NYK Group. All rights reserved.

(億円)

円安	13	今期 111.20円/\$, 3.89円の円安
燃料油高	▲55	今期 \$321.52/MT, \$105.85の上昇
海運市況変動等	310	
コスト削減	15	
為替差損益	92	
その他	81	(含む、構造改革効果 80)
合計	456	

- ▶ 前年比大幅な増収、業績は著しく改善し全段階損益で黒字転換
- ▶ 前回予想比でも増収、黒字幅を拡大
 - 定期船 荷動きは堅調に推移し、一定の事業統合費用を織り込むが下期も黒字を見込み前年比増収増益
 - 航空運送 前年の一時収益が剥離するも堅調な荷動きに支えられ実質大幅な増益
 - 物流 仕入れコストの高止まりで粗利が低下し、前年比増収減益
 - 不定期専用船 ドライバルク市況の回復とLNG船・海洋事業の安定的な収支貢献もあり前年比増収増益
 - 不動産 前年の一時収益が剥離し前年比減収減益となるも引き続き安定的に利益計上
- ・ 営業外費用 ONE社設立から営業開始までの損益を2Qより計上開始
- ・ 配当 中間配当見送り、期末配当は引き続き未定

通期業績予想（サマリー）

業績予想



	17/3期（実績）					18/3期（予想）				通期 増減	前回 予想比 (通期)
	上期		下期		通期	上期(実)		下期	通期		
(億円)	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q				
売上高	9,285		9,952		19,238	10,642		10,888	21,530	2,292	410
	4,707	4,578	4,859	5,093		5,217	5,425				
営業損益	▲224		43		▲180	127		203	330	510	115
	▲109	▲115	69	▲25		35	91				
経常損益	▲236		246		10	220		130	350	340	120
	▲99	▲136	259	▲12		102	117				
親会社株主に 帰属する 当期純利益	▲2,318		▲339		▲2,657	62		48	110	2,767	60
	▲127	▲2,190	57	▲396		53	8				

為替レート	¥111.12	¥103.50	¥106.13	¥114.29	¥108.76	¥111.48	¥110.92	¥110.00	¥110.60	¥1.84
燃料油価格	\$192.62	\$238.71	\$270.71	\$312.94	\$253.75	\$326.72	\$316.32	\$350.00	\$335.76	\$82.01

▶ 経常利益に対する感応度（下期）

為替レート : 1円の円安で約2.3億円/下期の増益
 燃料油価格 : \$ 10/MTの燃料油価格下落で約6.4億円/下期の増益

▶ 配当 中間配当見送り、期末配当は引き続き未定

通期業績予想（セグメント別）

業績予想



事業セグメント (億円)		17/3期（実績）					18/3期（予想）					通期 増減
		1Q	2Q	上期	下期	通期	1Q	2Q	上期(実)	下期	通期	
一般貨物輸送事業	定期船	1,414 ▲88	1,391 ▲64	2,805 ▲153	3,053 25	5,859 ▲127	1,715 57	1,790 76	3,505 133	3,445 2	6,950 135	1,091 262
	航空運送	190 ▲19	194 ▲14	385 ▲34	434 61	819 26	233 7	237 ▲8	471 ▲0	479 5	950 5	131 ▲21
	物流	1,138 21	1,119 24	2,258 46	2,355 30	4,613 76	1,189 ▲0	1,277 13	2,467 12	2,653 37	5,120 50	507 ▲26
	(単純合計)	2,743 ▲86	2,706 ▲54	5,449 ▲141	5,842 116	11,291 ▲24	3,139 63	3,305 81	6,444 145	6,577 44	13,020 190	1,729 214
不定期専用船事業	不定期専用船	1,801 ▲8	1,696 ▲85	3,498 ▲94	3,679 52	7,177 ▲41	1,889 27	1,922 22	3,812 50	3,898 79	7,710 130	533 171
その他事業	不動産	24 9	24 9	48 18	45 101	94 120	19 6	19 8	39 14	41 11	80 25	▲14 ▲95
	その他	320 ▲6	345 1	666 ▲5	799 ▲9	1,466 ▲14	390 11	400 9	791 20	819 5	1,610 25	144 39
消去・全社		▲182 ▲7	▲193 ▲7	▲376 ▲14	▲414 ▲15	▲790 ▲29	▲222 ▲6	▲221 ▲4	▲444 ▲10	▲446 ▲10	▲890 ▲20	▲100 9
連結		4,707 ▲99	4,578 ▲136	9,285 ▲236	9,952 246	19,238 10	5,217 102	5,425 117	10,642 220	10,888 130	21,530 350	2,292 340

※（上段）売上高（下段）経常損益

- 定期船は一定の事業統合費用を織り込み済み
- 航空運送・不動産は前年度下期に一時的な収益を計上

通期業績予想（セグメント別・前回今回予想比較）

業績予想



事業セグメント (億円)		前回予想			今回予想			前回予想差		
		上期	下期	通期	上期(実)	下期	通期	上期	下期	通期
一般貨物輸送事業	定期船	3,460	3,390	6,850	3,505	3,445	6,950	45	55	100
		90	▲40	50	133	2	135	43	42	85
	航空運送	480	470	950	471	479	950	▲9	9	0
		5	10	15	▲0	5	5	▲5	▲5	▲10
	物流	2,520	2,580	5,100	2,467	2,653	5,120	▲53	73	20
不定期専用船事業		35	50	85	12	37	50	▲23	▲13	▲35
	(単純合計)	6,460	6,440	12,900	6,444	6,577	13,020	▲16	137	120
		130	20	150	145	44	190	15	24	40
	不定期専用船	3,690	3,740	7,430	3,812	3,898	7,710	122	158	280
		5	60	65	50	79	130	45	19	65
その他事業	不動産	40	40	80	39	41	80	▲1	1	0
		10	15	25	14	11	25	4	▲4	0
	その他	790	820	1,610	791	819	1,610	1	▲1	0
		15	5	20	20	5	25	5	0	5
	消去・全社	▲450	▲450	▲900	▲444	▲446	▲890	6	4	10
連結		▲15	▲15	▲30	▲10	▲10	▲20	5	5	10
		10,530	10,590	21,120	10,642	10,888	21,530	112	298	410
		145	85	230	220	130	350	75	45	120

※ （上段）売上高 （下段）経常損益

- 定期船は荷動き好調に伴い前回予想比積高増加、ターミナルも好調が続く
- 不定期船はドライバルク市況が引き続き堅調と見込む

- 定期船 下期は需要減退期なるも貨物量を確保
柔軟性のある運賃設定と最適な貨物構成を考慮し粗利の最大化を図る

- 航空運送 荷動きは引き続き堅調なるも、エンジン整備時期の集中により
収支は若干伸び悩む

- 物流 フォワーディング事業の粗利低迷は徐々に改善

- 不定期専用船
 ドライバルク部門 荷動きは堅調、緩やかな市況の上昇傾向が継続

- リキッド部門 タンカー市況は需要期に入る下期には一定の回復を見込む
 LNG船・海洋事業は引き続き高稼働を見込む

- 自動車輸送部門 欧米向けを中心に日本出し貨物は好調、
 更なる運航効率の最適化を追求

▶ 1. 定期船事業 – コンテナ船

輸送量・消席率 (1,000TEU)

		17/3期(実績)				18/3期(予想)			
		上期		下期		上期(実)		下期	通期
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
アジア →北米	輸送量 ()は前回予想値	175	220	227	217	239	257	492	988
						(489)		(480)	(968)
	消席率 ()は前回予想値	80%	92%	92%	90%	91%	96%	93%	93%
						(92%)		(91%)	(92%)
アジア →欧州	輸送量 ()は前回予想値	117	128	124	129	166	176	343	685
						(344)		(322)	(666)
	消席率 ()は前回予想値	91%	95%	97%	102%	96%	95%	95%	95%
						(96%)		(94%)	(95%)

運賃推移 (指数表示 09/3期 1Q=100)

		17/3期(実績)				18/3期(予想)			
		上期		下期		上期(実)		下期	通期
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
アジア→北米 ()は前回予想値		74	69	71	71	70	69	70	69
						(72)		(71)	(71)
アジア→欧州 ()は前回予想値		42	46	47	51	50	55	52	52
						(52)		(53)	(52)

▶ 2. 航空運送事業（NCA）

	17/3期(実績)				通期	18/3期(予想)				前回予想比 (通期)
	上期		下期			上期(実)		下期	通期	
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q			
売上高(億円)	385		434		819	471		479	950	0
	190	194	225	209		233	237			
経常損益(億円)	▲34		61		26	▲0		5	5	▲10
	▲19	▲14	22	38		7	▲8			
輸送重量 千トン	246		263		510	286		279	565	12
	118	129	136	128		142	145			
輸送量(RTK) 百万トンキロ	1,493		1,582		3,075	1,703		1,664	3,367	▲46
	719	773	825	756		844	858			
供給量(ATK) 百万トンキロ	2,210		2,172		4,382	2,401		2,314	4,715	▲32
	1,080	1,130	1,121	1,050		1,180	1,221			
YIELD指数 09/3期 1Q=100	72		78		75	82		82	82	0
	74	71	79	77		81	82			
MOPS (ジェット燃料) US\$ per bbl	\$54		\$62		\$58	\$62		\$65	\$64	0
	\$54	\$54	\$60	\$64		\$61	\$64			

➤ 荷動きは引き続き堅調なるも、エンジン整備時期の集中により収支は若干伸び悩む

▶ 3. 物流事業

	17/3期(実績)					18/3期(予想)				前回 予想比 (通期)
	上期		下期		通期	上期(実)		下期	通期	
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q			
売上高(億円)	2,258		2,355		4,613	2,467		2,653	5,120	20
	1,138	1,119	1,180	1,175		1,189	1,277			
経常損益(億円)	46		30		76	12		37	50	▲35
	21	24	20	9		▲0	13			

➤ フォワーディング事業の粗利低迷は徐々に改善

▶ 4. 不定期専用船事業 – 1) ドライバルカー・タンカー市況動向

		17/3期(実績)					18/3期(予想)				前回予想 (通期)
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q(実)	2Q(実)	下期	通期	
ドライバルカー	BDI	610	736	997	936	820	1,018	1,137	1,176	1,127	1,051
	Cape (5TC)	6,684	8,080	11,983	10,970	9,429	12,231	14,632	14,750	14,091	13,308
	Panamax (Pac)	4,546	5,743	7,338	7,481	6,277	8,304	9,811	10,250	9,654	8,451
	Handymax (Pac)	4,836	6,509	5,841	5,972	5,789	7,832	8,657	10,000	9,123	8,208
	Handy (Pac)	3,951	5,755	5,895	5,812	5,353	6,778	7,112	8,500	7,723	6,820
タンカー	VLCC	43,686	19,549	49,208	31,483	35,982	22,582	13,541	40,000	29,031	31,896

※ドライバルク船型別市況（スポット傭船料） 5TC = 5航路平均、Pac = 太平洋ラウンド 単位 = \$/day

- ドライバルク部門 荷動きは堅調、緩やかな市況の上昇傾向が継続
- リキッド部門 タンカー市況は需要期に入る下期には一定の回復を見込む
LNG船・海洋事業は引き続き高稼働を見込む

▶ 4. 不定期専用船事業 – 2) 自動車船

	17/3期(実績)					18/3期（予想）				前回予想比 （通期）
	上期		下期		通期	上期(実)		下期	通期	
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q			
輸送台数 (万台)	167		169		336	179		180	359	5
	84	83	86	83		88	91			
前年同期比	▲11%		▲7%		▲9%	7%		6%	7%	1%
	▲11%	▲11%	▲12%	▲1%		5%	10%			

➤ 欧米向けを中心に日本出し貨物は好調、更なる運航効率の最適化を追求

4. 財務状況

	16/3期末 (実績)	17/3期末 (実績)	17/9期末 (実績)	18/3期末 (今回予想)	18/3期末 (前回予想)
有利子負債 (億円)	9,405	9,453	9,606	10,000	10,000
自己資本 (億円)	7,736	5,224	5,225	5,300	5,300
自己資本比率	34%	26%	25%	25%	25%
DER	1.22	1.81	1.84	1.90	1.90
ROE	2.3%	-	-	2.1%	1.0%
営業CF (億円)	1,428	279	327	800	550
投資CF (億円)	▲468	▲1,446	▲611	▲1,800	▲1,500
(減価償却費)(億円)	(1,033)	(920)	(426)	(840)	(840)

5. 運航船舶

事業 セグメント	船種	16/9期末(実績)			17/9期末 (実績)					
		所有 (含共有)	傭船	運航船 合計	所有(含共有)		傭船		運航船合計	
		隻数	隻数	隻数	隻数	DWT	隻数	DWT	隻数	DWT
定期船事業	コンテナ船	22	76	98	29	1,925	70	4,848	99	6,773
不定期専用船 事業	撒積船 (ケープサイズ)	32	77	109	27	5,252	82	16,136	109	21,388
	撒積船 (パナマックスサイズ)	40	67	107	39	3,489	56	4,623	95	8,112
	撒積船 (ハンディサイズ)	58	96	154	56	2,623	92	4,367	148	6,991
	チップ船	8	34	42	9	460	33	1,806	42	2,267
	自動車船	29	86	115	35	619	82	1,529	117	2,148
	タンカー(油槽船)	42	22	64	41	7,373	26	3,170	67	10,544
	LNG船	65	3	68	67	5,400	3	228	70	5,629
	在来・プロジェクト 貨物	18	33	51	23	427	18	260	41	688
	その他	1	0	1	1	7	0	-	1	7
その他事業	客船	1	0	1	1	7	0	-	1	7
合計		316	494	810	328	27,587	462	36,970	790	64,558
海洋事業 (J/V保有船)	シャトルタンカー			26					29	3,437
	FPSO			4					4	-
	ドリルシップ			1					1	-
総合計				841					824	67,996

※ 共有船の重量トン是他社持ち分を含む。LNG船の隻数・重量トンにはJ/V保有を含む。DWT・・・1,000KT

ONE

OCEAN NETWORK EXPRESS

定期コンテナ船事業合併会社事業開始に向けた進捗状況報告

2017年10月31日

統合作業の進捗状況 (1/3)

□ 全体の進捗状況：当初の想定から変更無し

ONE

OCEAN NETWORK EXPRESS

新会社Ocean Network Expressの頭文字をとって略称ONEと設定



2017年7月10日記者会見の様子（左から川崎汽船：村上英三、商船三井：池田潤一郎、Ocean Network Express：Jeremy Nixon、日本郵船：内藤 忠顕）



統合作業の進捗状況 (2/3)

地域統括拠点 (Regional Head Quarter) および各国現地法人の設立状況

- シンガポール本社 Marina One に決定。 1月OPEN予定
- 全ての地域統括拠点 (シンガポール、香港、 英国、アメリカ、ブラジル) および日本総代理店ONE JAPANで業務開始
- その他各国現地法人の設立も進捗中

独禁法認可

- 南アフリカ共和国のみ審判請求手続中で2018年1月に結審見込み
- 上記国を除き、統合事業に必要な手続きは完了

顧客との輸送契約 (入札)

- 2018年4月以降発効の年間契約等について顧客の入札スケジュールに合わせて順次応札開始 (*)

ベンダー契約

- 2018年4月以降発効のベンダー契約に就いて2017年10月より交渉開始 (*)

(*)除く南アフリカ航路

統合作業の進捗状況 (3/3)

ITインフラ

- ベストプラクティスを結集した基幹システムを構築完了（17年8月）
- 18年2月ブッキング受付に向けたトレーニングを世界各地で開始（17年9月～）
- E-commerce : 顧客利便性を追求した多機能ホームページを開発中

安全運航、環境

- 本社に最先端の24時間オペレーションセンターを設置予定
- 独自の安全運航基準を策定作業開始
- ISO14001 取得に向けて準備開始

コーポレート機能

- 監査法人の決定
- 決算期 4月～3月期に決定
- より効率的な資金管理のためGlobal Cash Management Systemの採用を決定

引き続き、2018年4月サービス開始に向け、準備を進めて行きます